

事後評価シート

コード 6-5-8	事務事業名 3歳児健康診査事業	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 身体発育及び精神発達の面から重要な時期である三歳児に、一般健診・ 歯科健診・心理相談・視力検査・聴覚検査を行い、疾病の早期発見のみ ならず、児の健全育成を目的とする	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 三歳児を対象に個別通知し、集団で、健康診査を保谷、田無会場で各17 回ずつ34回実施	根拠法令等 母子保健法
事業開始時期	平成9年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 1年間の開催回数
	通知者数	健診実施のために対象者に発送した通知数
	成果指標名 1次 受診者数	成果指標の考え方(定義) 1次 3歳から4歳未満までの年齢で当該年度に受診した者
	1次 受診率	1次 受診者/対象者
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		13,283	13,579	13,671	15,533
	国庫支出金		929	835		
	都支出金	千円	4,380	4,322	3,299	3,180
	地方債					
	その他					
	一般財源		7,974	8,422	10,379	12,353
	所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,482	2,482	2,456	2,456
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	15,765	16,061	16,127	17,989
	単位当たりコスト (E)=(D)/(受診者数)	千円	11	11	11	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			34	34
	実績値	回	34	34	34	
活動指標	目標値				1,663	
	実績値		1,602	1,528	1,669	
1次成果指標	目標値	人			1,547	
	実績値	人	1,491	1,472	1,532	
1次成果指標	目標値	%			93	
	実績値	%	93	96	92	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	健診にかかる時間が長い。午前の健診を希望している。異常の発見が早期にでき、よかった。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	同様のサービスを提供している。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	母子保健センターは建物の構造上多くの受診数をこなせない。2会場で実施のため回数が多い。

コード 6-5-8	事務事業名 3歳児健康診査事業	所管部課 保健福祉部健康推進課
--------------	--------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	▼	4
	目標の妥当性 2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している	▼	
	緊急性 5 財政難の中、他の事務事業を休止しても優先して実施する必要がある	▼	
2 市が関与する必要性	法的義務性 5 法律で実施することが義務づけられている	▼	5 病院で実施しているところもあるが、眼、耳、心理、栄養及び子育て支援等多岐にわたって健診、保健指導しているところは少なく、身近でうけるのは難しい。
	必要性 4 安全・安心・健康な市民生活の水準の維持に不可欠なサービスである	▼	
	民間との役割分担 2 民間団体が同種のサービスを提供しているが、質・量共に下回っている	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 3 市民(庁内)ニーズが明確に把握できており、ニーズに見合ったサービスである	▼	3
	規模・方法の妥当性 3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	▼	
	公平性 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民または団体である	▼	
4 実施手続の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	▼	4
	効率性 2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	▼	
	独自性 5 国・都及び庁内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	
合計			43

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	2会場実施の困難性、健診時間の短縮、健診回数を減らす等課題はあるが、他の事業との整合性も配慮しながら継続実施

18年度における改善点	受診後に感想等のアンケートを実施し、ニーズの把握をする。またアンケート結果を解析し、見直しする。歯科健診でのブラッシング指導の充実や待ち時間の短縮及びデンタルフロス等補助用具の適切な使用方法の普及のため歯科衛生士を増員した。
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	委託単価は都内統一単価となっている。合併時にサービス低下を招かぬよう配慮した結果、年間34回も開催しており、客観的にみれば過剰サービスとなっている点は否めない。1受診者あたりの経費が11千円と高額になっていることから、1回当たりの実施時間、実施回数及び開催場所について協議し、改善に取り組むべきである。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本市の場合、合併という他市にない状況下であり、その特殊事情を考慮しつつも、行財政環境の変化への対応や、時代ニーズにあった事業の再構築をしていくため、26市の平均に留意して、本市のサービス水準の適正化を図る必要がある。よって、実施回数や内容、開催場所等の見直しに向け、医師会・歯科医師会等と調整の上、段階的に進められたい。
--------	---	--